



研究	ROV (Remotely Operated Vehicle) 型点検装置の実証実験	
<p>点検者の安全を確保しながら効率的に栈橋上部工の部材の劣化を確実に把握するため、栈橋上部工下面の状況を撮影する ROV 型の点検装置を開発しています。小名浜港(8月)と千葉港(9月)にて、撮影能力や操作性の確認を目的とした実証実験を行いました。</p> <p>ROV は位置情報を付加した連続的な画像を短時間で撮影できるため、画像合成で3D表示するが可能です。また、3D画像を点検帳票の形式に出力できる内業支援ソフトも開発しています。</p>		

出張	海外出張報告	
<p>川端が7月にリーズで開催された国際会議 (International Conference on Durability of Concrete Structures)、また9月にハノイで開催された「アジア域の風土に適合した暑中コンクリートの設計・施工標準の策定に向けた研究拠点」のセミナーに参加し、発表および情報収集しました。また、田中が9月にバンコクで開催された国際会議 (The 3rd International Symposium on Concrete and Structures for Next Generation) に参加し、発表および情報収集しました。</p>		

最新の成果発表

1)	加藤絵万, 川端雄一郎, 宇野健司, 宮田正史, 福手勲: 既存ケーソンの有効活用に向けた技術的課題の整理, 第43回海洋開発シンポジウム, 2018
2)	田中豊, 川端雄一郎, 加藤絵万: 栈橋上部工における塩化物イオン浸透性状の非一様性に影響を及ぼす要因の検討, 第43回海洋開発シンポジウム, 2018
3)	網野貴彦, 加藤絵万, 山路徹, 星野雅彦: 栈橋の点検診断の高度化のためのセンサモニタリング技術の導入, 第43回海洋開発シンポジウム, 2018
4)	宇野健司, 田中敏成, 加藤絵万: 栈橋上部工点検用 ROV による点検の効率化に向けた取組み, 第43回海洋開発シンポジウム, 2018
5)	池野勝哉, 岩波光保, 川端雄一郎: 非線形有限要素解析によるさや管方式の栈橋杭頭接合部に関する構造性能評価, 第43回海洋開発シンポジウム, 2018
6)	Yuichiro Kawabata, Kazuo Yamada, Yasutaka Sagawa and Shoichi Ogawa: Alkali-Wrapped Concrete Prism Test – New Testing Protocol Toward a Performance Test against Alkali-Silica Reaction-, Journal of Advanced Concrete Technology, Vol.16, pp.441-460, 2018
7)	Yuichiro Kawabata: Diagnosis on Expansion of Heat-Cured Precast Concrete Blocks Due to Delayed Ettringite Formation in Japan, Proceedings of 6 th International Conference on the Durability of Concrete Structures, TIM-02, 2018
8)	Yuichiro Kawabata and Kazuo Yamada: Understanding of the expansion mechanism by ASR and its impact on testing method and expansion estimation, Conference in honor of centennial of laboratory of construction materials and 60 th birthday Prof. Karen Scrivener, pp.121-124, 2018
9)	T. Yamaji, K. Yonamine and Y. Kawabata: Long-term behavior of various elements in concrete under marine environments, Proceedings of the 3 rd International Symposium on concrete and structures for next generation, pp.205-212, 2018
10)	Y. Tanaka, Y. Kawabata and E. Kato: A study on spatial variation of chloride ion supply to RC superstructure of an open-type wharf, Proceedings of the 3 rd International Symposium on concrete and structures for next generation, pp.213-220, 2018
11)	星野雅彦, 山路徹, 加藤絵万: ペโตรラタム被覆工法の防食効果持続性評価手法の構築, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, VI-240, pp.479-480, 2018
12)	染谷望, 川端雄一郎, 加藤絵万, 西田浩太, 網野貴彦: 防波堤上部工コンクリートの接合部の一体化に関する実験的検討, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, V-112, pp.224-225, 2018
13)	安藤翔太, 下村匠, 染谷望, 田中豊, 川端雄一郎, 加藤絵万: 埋設センサを用いた栈橋上部工における鉄筋腐食モニタリングの有効性に関する検討, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, V-344, pp.687-688, 2018
14)	塩崎禎郎, 大矢陽介, 小濱英司, 川端雄一郎: 径厚比の違いを考慮した鋼管杭の耐震性能照査法 – 港湾施設に対する検討 –, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, I-493, pp.985-986, 2018
15)	俵積田新也, 川端雄一郎, 山田一夫, 佐川康貴, 村上光樹, 上野貴之: 膨張試験および数値解析によるベシマム混合率の継時的変化に関する一考察, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, V-334, pp.667-668, 2018
16)	川端雄一郎, 染谷望, 田中豊, 河村直哉: 室内試験および屋外暴露試験による ASR 抑制対策の比較, 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, V-338, pp.675-676, 2018

メンバー紹介

※ メールアドレスの@以降は pari.go.jp です。

氏名	役職	メールアドレス	マイブーム	今月のひと言
加藤 絵万	グループ長	kato-h-e@	引越し	色々とお悩みです。
野上 周嗣	主任研究官	nogami-s852a@	3DCAD	日々、お絵描きの練習をしています。
川端 雄一郎	主任研究官	kawabata-y@	糸巻き	とうとうマグロ用リールを買いました
染谷 望	研究官	someya@	腸活	ヤクルトとヨーグルトを摂取し始めました
田中 豊	研究官	tanaka-yu@	筋トレ	腹筋ローラーを買いました。あれは効く。
黒木 賢一	依頼研修員	kuroki-ke@	パワーブリーズ	呼吸筋が鍛えられます。少し酸欠気味な時も。
伊藤 孝吉	派遣職員	itoh-k@	新米	食欲の秋。モリモリ食べたいです。